

◎八百津東部中学校 2年生担任の先生から感想をいただきました

今回のお話は、生徒はよく理解できたと思います。福祉の仕事のやりがいについては十分伝わりました。福祉の仕事に就いたきっかけや介護以外の仕事の具体的な内容についても詳しく聞けるとよかったです。

将来、福祉の仕事をしてみようという気持ちになれた生徒もいると思います。子どもたちにとって新たな発見があり、今後の進路選択の参考になりました。

短い時間で貴重なお話をしていただきありがとうございました。



中学校での講座は福祉人材総合支援センターのキャリア支援員と共に行いました。限られた時間の中で、どこまで魅力を伝えられたかわかりませんが、中学生のみなさんはとても真剣に話を聞いてくれました。

福祉の仕事は大変ですが、やりがいのある仕事です。今回、訪問した生徒さんの中で将来ひとりでも福祉に関わる仕事をしてくれたら嬉しいと思います。

これからも「ぎふ福祉の魅力知らせ隊」の、経験を生かして福祉の魅力を若い世代に発信していきます。

特別養護老人ホーム サンシャイン美濃白川
生活相談員 島倉大輔



早いもので介護の仕事をはじめて一年ほどが経ちます。私が介護の仕事を選んだ理由は、介護福祉士の兄の仕事に興味を持ったからです。兄から人手不足の職種であることを聞き、私も役に立てるのではないかと思いました。

まず介護について知識をもって仕事に就きたいと思い、介助の方法や関わり方の知識や技術を学ぶために進学しました。

その後、実際に働いてみると、知識だけでなく利用者一人ひとりに合った方法で介助することが大切だとわかりました。実習では利用者とのコミュニケーションをとる時間がありましたが、実際はゆっくり話をする時間を作ることは難しいと感じています。日常生活の中で関わりを持ち、思いに寄り添えるように努めています。

この仕事に就いて良かったことは、利用者に「ありがと」や「ご苦労さま」と声を掛けていただくことです。楽しそうな表情や真剣に取り組まれている姿を見て、自分もがんばろうと思えます。日頃から顔を見て話し、いつもと違うことに気づき早めの対応に繋がるようにしています。

新卒で介護福祉士として働く
職員に話を聞きました



▲利用者と一緒に本を楽しむ様子

あいランド美濃白川
ケアワーカー
安江美月

以前、介護の仕事はお世話をするイメージを持っていましたが、最近は生活を支える職業であると意識が変わりました。大変だと思う事もありますが、やりがいを感じています。

これからも利用者の笑顔を大切に、思いに寄り添える介護福祉士になれるようにがんばっていきます。